

## 総括

- 令和3年度は、すみだトリフォニーホール及びすみだ北斎美術館の新たな指定管理期間の初年度であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響による臨時休館や施設利用の自粛要請等に伴い、当初の事業計画の一部中止、開催時期の延期、事業内容の変更を余儀なくされたが、可能な限り事業を実施してきた。コロナ禍における事業の実施にあたっては、東京都や墨田区の指示、関連業界のガイドラインを遵守し、入場人員の制限、検温、消毒、マスクの着用など、徹底した感染防止対策を行うとともに、職員及びスタッフについても徹底した感染防止対策を講じ、事業所内での感染者の発生を最小限に食い止めることができた。
- 財務状況については、前年度同様に新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、施設利用の取消しに伴う利用料金収入の減収、入場者・観覧者の減少による入場料収入の減収など、大きな影響を受けているが、新型コロナウイルス感染症関連の助成金や補助金等を獲得することができ、損害を最小限に留めることができた。

### すみだトリフォニーホールを核とする音楽等の振興事業

- 令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響により、主催公演においては可能な限り公演を中止せず、開催時期の延期や事業内容を変更して実施することとなった。コロナ禍においても感染防止対策を徹底し、フランチャイズオーケストラの新日本フィルと協働による数々の事業を実施したほか、前年度に引き続き区民を対象とした新たな体験型事業として、ホールの財産であるパイプオルガンを活用した「パイプオルガン演奏体験&オルガン・レクチャー付きバックステージ・ツアー」を実施し多くの区民が参加した。
- 令和3年度から「音楽事業推進補助事業」を新たにスタートし、あらゆる区民がホールを身近に感じ、足を運んでもらい、教育・福祉・子育て支援などの行政分野の課題解決にも繋がる事業を開始し、多くの区民が来場した。(区民来場率:50%超)
- また、令和3年度から「トリフォニーホール区民モニター制度」を新たに導入し、インターネットによるアンケート調査を実施し、意見・要望を調査分析し、今後の事業企画等に活用していく。
- 「トリフォニーホール・ジュニアオーケストラ」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、令和3年度は6回の練習と演奏会の代替として保護者を対象とした公開練習を実施した。
- 施設利用においては、新型コロナウイルスによる臨時休館及び利用自粛などの影響により、大ホール、小ホール、練習室ともに利用率は一時大幅に低下したが徐々に回復傾向にあり、年間の公演数は約8割まで回復している。

## すみだ北斎美術館を核とする美術等の振興事業

- すみだ北斎美術館は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和3年4月25日から5月30日まで臨時休館となり、展覧会の開催期間の大幅な変更を強いられたが、事業計画通り5回の展覧会を実施することができた。その中でも東京オリンピック・パラリンピックの開催時期にあわせ、インバウンドの来館を期待した特別展「THE 北斎」展は、インバウンドの来館こそほとんどなかったが、コロナ禍の令和3年度の展覧会の中で最も多い観覧者数であった。
- 「常設展プラス」については、令和3年12月21日から令和4年3月31日までの長期間にわたり4階企画展示室で開催し、「隅田川両岸景色図巻(複製画)」や「北斎漫画」を展示した。
- コロナ禍における教育普及事業では、区内学校への出前授業や企画展に関連したワークショップは徹底した感染防止対策を講じて実施した。また、企画展に関連したスライドトークはオンラインで実施した。
- すみだ北斎美術館第1期指定期間(平成28年11月～令和3年3月31日)の事業報告として「館報」を作成するとともに、学芸員による北斎に関する資料の収集や保存、調査研究、企画展示、教育普及等に関する研究論文を「研究紀要」として発表した。
- 令和3年度の観覧者数は、56,978人(令和2年度実績45,324人)となり、前年度同様に新型コロナウイルス感染症拡大の大きな影響を受けており、コロナ前の観覧者数の約3割相当であった。  
なお、開館からの観覧者数の累計は、令和3年度末で876,611人となった。
- 令和3年度は文化庁の文化芸術振興費補助金「コロナ禍を乗り越えるための文化芸術活動の充実支援事業」に採択され16,168,000円の補助金を獲得することができたほか、墨田区による臨時休館中の損失補填等によりコロナによる損害を最小限に抑えることができた。

## 墨田区域における文化芸術活動の推進支援事業

- 「すみだ文化芸術活動助成事業」については、区内で活動する文化芸術団体15件の申請のうち、選考会において8件を採択したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、1件の事業が辞退となった。採択した事業については、すみだ文化芸術情報サイト及びSNSでイベント情報を発信し、選考委員による視察と評価コメントのフィードバックなど支援プログラムの充実に努めた。
- 「すみだ文化芸術情報サイトの運営」では、令和3年度から事務局で各団体が発行するメールニュース等の転載や助成・支援等の情報発信に努めた結果、ページビューが前年比約1.5倍となった。
- 「文化政策及び文化事業に関する調査」においては、国、都、他の自治体の文化政策の動向の情報収集を行い、区の文化施策及び財団の事業に対するアドバイザリーボードの意見を聴取した。
- 「アートプロジェクト等の推進事業」では、「隅田川 森羅万象 墨に夢」(通称:すみゆめ)の実行委員会事務局を引き続き担い、コロナ禍で行われる北斎、隅田川をテーマとした多彩な表現活動に対する補助金の交付やサポートを行うとともに、実行委員会主催企画を推進した。

# I すみだトリフォニーホールを核とする音楽等の振興事業

## 1. コロナ禍でも進化するトリフォニーホールの音楽事業

令和3年度も引き続き新型コロナウイルスの感染拡大がホール運営に影響を及ぼした1年であった。4月25日から5月11日までの期間、トリフォニーホールは臨時休館となり、その間に予定していた主催公演は延期を余儀なくされた。また9月30日までは営業時間の制限が設けられ、夜間の貸し出しに影響が生じた。しかしながらコロナ禍においてもランチヤイズ・オーケストラである新日本フィルと協働して感染防止対策を徹底した数々の事業を行うことができた。また施設利用率も回復傾向にあり、年間の公演数はコロナ禍前のおよそ80%までに回復した。

令和3年度は、墨田区の支援により新たにスタートした「音楽事業推進補助事業」、および4年目を迎えた文化庁の「劇場・音楽堂等機能強化推進事業」の助成を得て、新型コロナウイルス感染拡大の影響が続く中でも戦略的な事業展開及び広報活動を推進できたことが大きな進化であった。

「音楽事業推進補助事業」では、あらゆる区民がホールを身近に感じ足を運んでくれるよう、また音楽事業が教育・福祉・子育て支援など、さまざまな行政分野における課題の解決に寄与していくよう取り組みを開始した。また新たに「トリフォニーホール区民モニター制度」を導入し3回のインターネットによるアンケート調査を実施した。各年齢層と区内居住地のバランスを確保したおよそ250名の区民モニターから寄せられた意見・要望を調査分析し、区民の幅広い視点からの客観的な評価の指標として活用した。

## 2. 感染防止のための対応

東京都および墨田区からの指示、並びに関連業界のガイドラインを遵守し、感染状況に応じた対策を講じ安全に事業を実施した。

【来場客】来場客全員のマスク着用、検温、手指消毒の徹底をはじめ、会話は控えていただくなど、100%入場時における感染リスクを回避した。

【時差退場】終演後は退場時の密回避のため、客席ブロックごとに時間差退場を呼びかけた。また非常口を解放することで出口を増やし速やかな退館を促した。

【出演者及び利用者】基本的な感染対策を徹底、本番時以外のマスク着用、バックステージでの密状態の回避に留意した。

【施設管理】各施設や備品の消毒、適切な換気の実施、対面での受付窓口にアクリル板を設置、職員並びにスタッフの体調管理を徹底した。



会話は控えるよう注意喚起



終演時の時差退場の様子

### 3. 主催公演における積極的な事業実施

主催公演においては可能な限り公演を中止せず、開催時期の変更、海外出演者を国内アーティストへ変更するなどして実施した。世界的に活躍する一流アーティストと、フランチャイズ・オーケストラ、新日本フィルとが共演する新日本フィル活用事業をはじめ、「音楽事業推進補助事業」においては「坂東玉三郎お話と素踊り」「布施明 meets 新日本フィル」など、日本の伝統芸能や著名アーティストの本格的なパフォーマンスを低廉な区民割引価格で楽しんでもらう機会を提供し、多くの区民が来場した。また障害のある方も、子どももお年寄りも、誰もが一緒にホールに集い、気軽にクラシック音楽を楽しめる「ようこそ！誰でもコンサート」、子育て支援を目的にお母さん、お父さん、お腹の中の赤ちゃんもリラックスして鑑賞できる「リラックス・コンサート」等を実施した。コロナ禍にもかかわらず「音楽事業推進補助事業」では区民来場率が50%を超えており、区民の高い関心を集めたことがうかがえる。

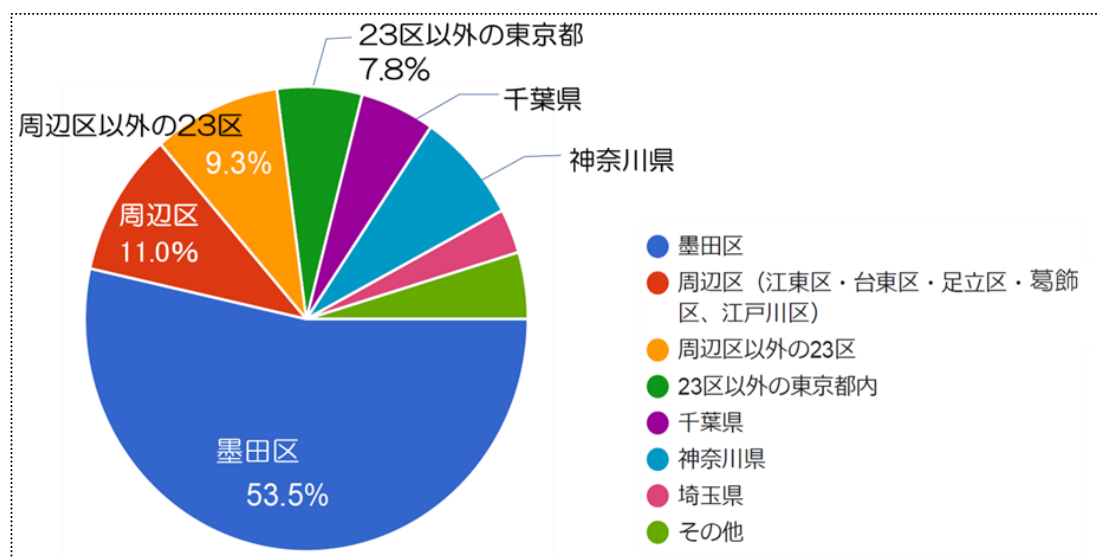


2021/7/3(土)坂東玉三郎 お話と素踊り  
入場者 1,509 名(うち区民 778 名 52%)



2021/12/9(木)布施明 meets 新日本フィル  
入場者 1,640 名(うち区民 847 名 52%)

Q. お住いのエリアをお聞かせください。  
(布施明 meets 新日本フィル 来場者アンケートより)



年間を通じてホールの財産でもあるパイプオルガンを活用した多彩な事業を実施した。特に子どもから大人までのすべての区民を対象としたオルガン体験会は、毎回応募者が定員を大きく上回るなど、今までは鑑賞するだけの楽器だったオルガンが、もっと身近な楽器として区民に浸透していることがうかがえる。

新日本フィルのメンバーによる「アウトリーチ事業」では感染防止に留意しながら、区立小中学校の全校での音楽指導事業ならびに区内福祉施設でのふれあいコンサートを実施した。

各施設利用においては、臨時休館および感染防止のための活動自粛などの影響から、大ホール、小ホール、練習室ともに利用率は低下したが、コロナ禍で急激に変化した文化施設の新たな日常への転換を徹底し、感染防止に努めながら一層安心・安全なホール運営を実現した。

#### 4. トリフォニーホール区民モニター制度の導入

##### 【トリフォニーホール区民モニター制度について】

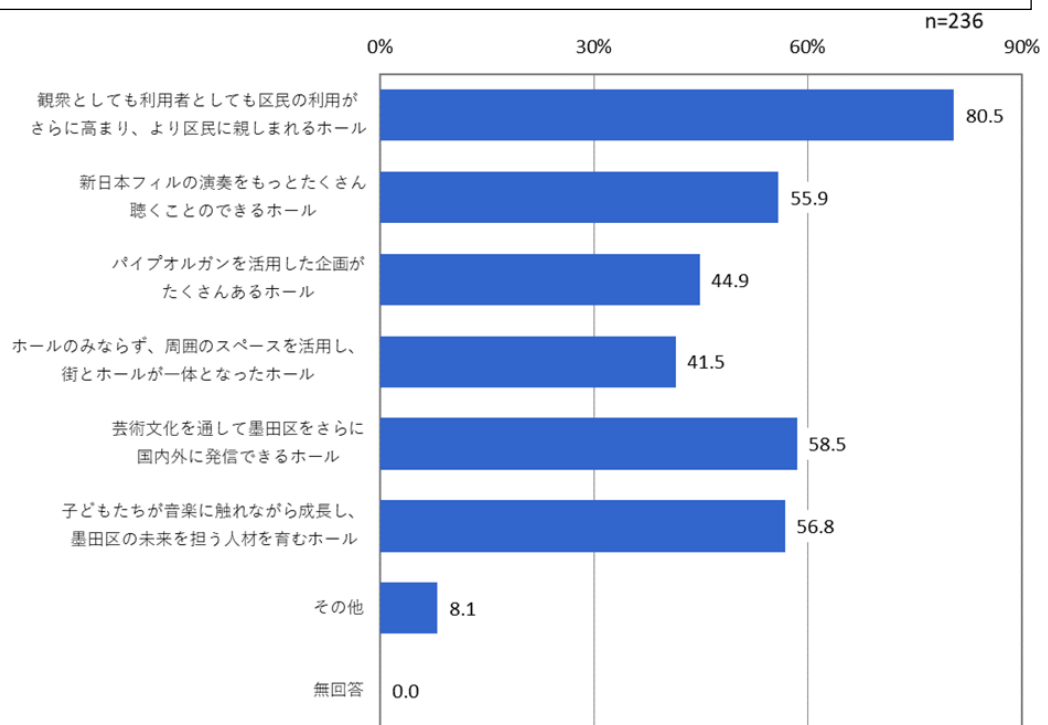
トリフォニーホールの事業や新日本フィルのフランチャイズ制度などに関心があり、ホールへ協力の意志のある墨田区民の方々を対象に実施する、ホールとして初めてとなる本格的な意向調査をスタートさせた。モニター登録者数は約 250 名、各年齢層と区内居住地のバランスを確保し、令和 4 年度の開館 25 周年記念事業の内容や、今後のトリフォニーホールへの期待、さらにはフランチャイズ制度の展開など、幅広い視点から多岐にわたる項目について調査を実施した。(令和 4 年度から約 300 名に拡大)

##### 【令和 3 年度の調査日程と項目】

- 第 1 回 令和 3 年 6 月 「すみだトリフォニーホール、コンサートや音楽事業について」
- 第 2 回 令和 3 年 9 月 「新日本フィルモニー交響楽団、アウトリーチ事業、オルガン事業について」
- 第 3 回 令和 4 年 1 月 「文化芸術が人々の暮らしにもたらす効果、音楽事業推進補助事業について」

##### 【第 1 回調査における質問の例】

Q トリフォニーホールは令和 4 年に開館 25 周年を迎えますが、今後どのようなホールになってほしいと思いますか。(回答はいくつでも)



(全体の調査結果については「令和 3 年度区民モニターアンケート調査結果 (抜粋)」に掲載)

## 5. 令和3年度 コロナの影響により変更等が生じた主催事業

- (1) 緊急事態宣言発令による臨時休館のため、実施日を変更した公演
  - ①坂東玉三郎 お話と素踊り (7月3日実施) ※5月8日から日程変更
  - ②新日本フィル・シンフォニック・ジャズ・コンサート Special guest 上原ひろみ (8月9日実施) ※5月4日から日程変更
- (2) 海外アーティストの来日が不可能となり内容変更した公演
  - ①Super Brass Stars meets 新日本フィル (6月29日実施)  
(「ベルリン・フィル・ホルン・カルテット meets 新日本フィル」の代替公演)
  - ②「みんなのうたコンサート」(1月23日実施) (「ウィーン少年合唱団」の代替公演)
  - ③「大西順子プレミアム・コンサート」(3月8日実施) (「ブラック・ダイク・バンド」の代替公演)
- (3) 海外アーティストの来日が不可能となり中止となった公演  
「ヴィキングル・オラフソン ピアノ・リサイタル」(10月20日)

## 6. 音楽等の鑑賞機会の提供

### (1) 公演事業

すみだトリフォニーホールの大ホールを主な会場として、新日本フィルを活用する公演を実施したほか、国内外で活躍する音楽家を招聘し、ホールイメージの向上を目指す魅力的な公演を主催企画として実施した。

新型コロナウイルス感染症が拡大する中、開催の延期や内容の変更、十分な感染症対策などを行うことにより、ほとんどの公演を実施することができた。

また、令和3年度は新たに「音楽事業推進補助事業」を立ち上げ、質の高いパフォーマンスを低廉な価格で鑑賞できる機会をこれまで以上に創出した。日本の伝統芸能や著名アーティストによる公演など、音楽を中心とした様々なジャンルの鑑賞機会を提供し、舞台芸術の振興を図った。

### ■ フランチャイズ・オーケストラ活用主催公演

回	実施日	事業内容	入場者数
1	6月29日(火)	<b>Super Brass Stars meets 新日本フィル</b> [概要]日本のブラス・スター3人によるユニット。前半は3人のセッション。後半は新日本フィルとの共演でジャズとクラシックの融合を楽しむ「すみだ方式」 [出演]中川英二郎(トロンボーン)、エリック・ミヤシロ(トランペット)、本田雅人(サクソフォン)、新日本フィルハーモニー交響楽団 [演目]中川英二郎:Heaven's Kitchen、チック・コリア:スペイン ほか ※新型コロナウイルス感染症の影響によりベルリン・フィルハーモニー・ホルン・カルテットの代替公演として実施	887人
2	8月9日(月・祝)	<b>新日本フィル・シンフォニック・ジャズ・コンサート Special Guest 上原ひろみ</b> [概要]2011年にグラミー賞を受賞するなど世界的に活躍するジャズ・ピアニストと新日本フィルが共演する芸術性の高い公演。 [出演]上原ひろみ(ピアノ)、沼尻竜典(指揮)、新日本フィルハーモニー交響楽団 [演目]上原ひろみ/Legend of The Purple Valley、BRAIN TRAINING、バーンスタイン/《ウェスト・サイド物語》より シンフォニック・ダンス ほか ※新型コロナウイルスの影響により、2021年5月4日から延期して実施	1,524人
3	8月14日(土)	<b>下野竜也プレゼンツ！音楽の魅力発見プロジェクト 第8回</b> <b>「大河ドラマのテーマ曲！徹底解剖！」</b> [概要]シリーズ企画の第8回。好評のコンサート付きレクチャーとして実施。 [出演]下野竜也(指揮)、原田節(オンド・マルトノ)、池辺晋一郎(ゲスト)、新日本フィルハーモニー交響楽団 [演目]山本直純:武田信玄、芥川也寸志:赤穂浪士、池辺晋一郎:独眼竜政宗 ほか 関連企画①墨田区立小学校音楽教諭対象/東京文化会館ワークショップリーダーによるワークショップ 12月8日(水)墨田区立第一寺島小学校 ②【墨田区立小学校児童対象/東京文化会館ワークショップリーダーによるワークショップ 3月1日(火)墨田区立押上小学校	824人          一寺小 19名  押上小 117名

4	1月15日(土)	<b>新日本フィル ニューイヤー・コンサート 2022 in すみだ曳舟</b> [概要] 曳舟文化センターのリニューアル・オープン企画として実施。前半は落語、後半はコンサートとし、近隣区民のお正月を盛り上げた。 [出演] 立川龍志(落語)、横山奏(指揮)、中須美喜(ソプラノ)、田添菜穂子(司会)、新日本フィルハーモニー交響楽団 [演目] J.シュトラウスⅡ/歌劇《こうもり》序曲、ワルツ「春の声」ほか	453人
5	3月12日(土)	<b>すみだ平和祈念音楽祭 2022</b> <b>「下野竜也&amp;新日フィルハーモニー交響楽団」</b> [概要] 広島交響楽団音楽総監督として平和コンサート等への出演も多い下野竜也。自身の渾身のプログラミングで、音楽で平和を祈るコンサート。 [出演] 下野竜也(指揮)、津田裕也(ピアノ)、新日本フィルハーモニー交響楽団 [演目] モーツァルト:ピアノ協奏曲第24番、ブリテン:シンフォニア・ダ・レクイエム 関連企画①指揮者下野竜也によるスペシャル音楽道 3月3日(木) 墨田区立中和小学校、錦糸小学校 ②27万人の平和メッセージ 3月10日(金) 墨田区役所アトリウム	804人  錦糸小 46名 中和小 59名 アトリウム 158名

## ■大ホール等における自主企画公演

回	実施日	事業内容	入場者数
1	9月29日(水)	<b>佐渡裕&amp;シエナ・ウィンド・オーケストラ</b> [概要] 日本における吹奏楽の最高峰集団「佐渡シエナ」による吹奏楽の名曲揃い踏みのコンサート。ブラス・ファンを魅了した。 [出演] 佐渡裕(指揮)、シエナ・ウィンド・オーケストラ(吹奏楽) [演目] A.リード/アルメニアン・ダンス パート1、パート2 ほか	1,202人
2	10月20日(水)	<b>【公演中止】ヴィキングル・オラフソン ピアノ・リサイタル</b> [出演] ヴィキングル・オラフソン(ピアノ) ※新型コロナウイルスの影響により公演中止	—
3	12月19日(日)	<b>トリフォニーホール パイプオルガン・クリスマス・コンサート 2021</b> [概要] 誰もが気軽に楽しめるパイプオルガンのコンサート。クリスマス曲など。 [出演] 梅干野安未(オルガン)、平野公崇(サクソフォン)、岩崎瑞穂(司会) [演目] 【第1回】<0歳からのオルガン・コンサート> J.S.バッハ/「主よ、人の望みの喜びを」、スタジオジブリ・メドレー、 【第2回】<しっかりじっくりオルガン・コンサート> J.S.バッハ/前奏曲とフーガ ハ長調 BWV545、	【第1回】 1,457人 【第2回】 1,596人
4	1月23日(日)	<b>親・子・孫、3世代におくる歌の絆みんなのうたコンサート 2022</b> [概要] 60周年を迎えるNHKの長寿番組「みんなのうた」世代を超えて歌い継がれている名曲を楽しむ企画。 [出演] テツ and トモ、榊原広子、ダイヤモンド☆ユカイ、城南海、おしりかじり虫 [演目] 大きな古時計、ちいさい秋みつけた、山口さんちのツトム君、北風小僧の寒太郎、おもいでアルバム、コンピューターおばあちゃん ほか ※新型コロナウイルス感染症の影響によりウィーン少年合唱団の代替公演	855人
5	3月8日(火)	<b>開館25周年特別企画 大西順子 プレミアム・コンサート</b> [概要] ジャズ・ピアニストとして開館以来25年ぶりの出演。 [出演] 大西順子(ピアノ)、井上陽介(ベース)、吉良創太(ドラムス)、大儀見元(パーカッション)、大西順子 presents THE ORCHESTRA [演目] Harvest! Harvest! Wind Rose、Printmakers ほか ※新型コロナウイルス感染症の影響によりブラック・ダイク・バンドの代替公演	960名



## ■墨田区音楽事業推進補助事業公演

回	実施日	事業内容	入場者数
1	6月3日(木)	<p><b>赤ちゃんも、障がいのある方も、未就学児も…みんなみんな、「ようこそ！誰でもコンサート」新日本フィル・スペシャル！</b></p> <p>[概要] トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラの演奏で 2011 年から実施する障害者招待および0歳から入れるオーケストラのコンサート。</p> <p>[出演] 永峰大輔(指揮)、岩崎瑞穂(司会)、新日本フィル</p> <p>[演目] アンダーソン/トランペット吹きの子守歌、ジョン・ウィリアムズ/映画『スター・ウォーズ』よりメイン・タイトル ほか</p>	569人
2	7月3日(土)	<p><b>坂東玉三郎 トーク&amp;素踊り</b></p> <p>[概要] 人気、実力を兼ね備えた歌舞伎界の至宝坂東玉三郎の素顔に迫るトーク、そして、衣装や化粧を着けずに踊る素踊りの2本立公演。</p> <p>[出演] 坂東玉三郎(お話・素踊り)、富山清琴(歌・三絃)、富山清仁(歌・三絃・箏)</p> <p>※新型コロナウイルスの影響により5月8日より公演延期</p>	1,509人
3	9月13日(月)	<p><b>新日本フィル・コミュニティ・コンサート</b></p> <p>[概要] アウトリーチ活動の核となる事業。第1回目は墨田区立緑小学校を対象とし地域住民等が来場。第2回目は一般区民を対象に実施した。</p> <p>[出演] 水戸博之(指揮)、新日本フィルハーモニー交響楽団、岩崎瑞穂(司会)</p> <p>[演目] ロッシーニ/歌劇《ウィリアム・テル》序曲より「スイス軍隊の行進」、ベートーヴェン/交響曲 第5番《運命》より第1楽章</p>	【第1回】 750人 【第2回】 472人
4	11月3日(水・祝)	<p><b>お腹の赤ちゃんも、ちびちゃんも、お父さんお母さんも…みなさん、「ようこそ！リラックス・コンサート」～子育てを見守る方々もどうぞ！～</b></p> <p>[概要] 産前産後の育児支援を目的に、子育てに関わる全ての世代に向けてリラックスできる音楽を届けるコンサート。</p> <p>[出演] 和田一樹(指揮)中須美喜(ソプラノ)田添菜穂子(司会)福田えりか(賛育会病院産科科長)、新日本フィルハーモニー交響楽団</p> <p>[内容] プッチーニ/オペラ《ジャンニススキッキ》より「私のお父さん」、ハチャトゥリアン/組曲《仮面舞踏会》よりワルツ ほか</p>	1,057人
5	11月24日(水)	<p><b>墨田区立中学校吹奏楽部 音楽教諭対象打楽器奏法等のレクチャー</b></p> <p>[概要] 中学校吹奏楽部の指導にあたる音楽教諭対象に打楽器の奏法とメンテナンスのレクチャーを実施。</p> <p>[出演] 中谷孝哉(元新日本フィルハーモニー交響楽団打楽器奏者)</p> <p>※新日本フィル楽団員による吹奏楽部員への指導は、コロナ禍における部活動自粛のため見送った</p>	14人
6	12月9日(木)	<p><b>布施明 meets 新日本フィル</b></p> <p>[概要] 抜群の歌唱力を誇る実力派歌手の初企画。前半は布施明バンド、後半は新日本フィルとの共演ですみだ方式による豪華な一夜に。</p> <p>[出演] 布施明(歌)、藤野浩一(指揮)、新日本フィルハーモニー交響楽団</p> <p>[演目] 君は薔薇より美しい、MY WAY、シクラメンのかほり ほか</p>	1,640人

財団と新日本フィルハーモニー交響楽団との共同主催により、年4回の時節を捉えたコンサートを開催し、区民をはじめ家族連れなど幅広い層の集客に努めた。また、新日本フィルの定期演奏会等にも共催し、区民割引を適用した良質な音楽鑑賞機会を安価で提供した。

## ■新日本フィルハーモニー交響楽団との共同主催公演

回	実施日	事業内容	入場者数
1	4月3日(土)	<p><b>ファミリーコンサート 2021 宮川彬良×新日本フィルハーモニー交響楽団 オケパンV「ショウほど素敵な商売はニャー!!」</b></p> <p>[出演] 宮川彬良(指揮・ピアノ)、miycawa Ari(演出・振付)、新日本フィル</p> <p>[演目] Willkommen(「キャバレー」より)、春(Vivaldi「四季」より)、オー・ソレ・ミオ 雨に唄えば、ラジオ体操、大脱走マーチ、ショウほど素敵な商売はない</p>	618人



2	7月22日(木)	すみだサマーコンサート2021 [出演] 大井剛史(指揮)、上野耕平(サクソフォン)、新日本フィルハーモニー交響楽団、トリフォニーホール・ジュニアオーケストラ OB・OG(バンド) [演目] メンデルスゾーン: 劇付随音楽『夏の夜の夢』op. 61 より抜粋、イベール アルト・サクソフォンと11の楽器のための室内小協奏曲、	802人
3	12月31日(金)	宮川彬良 VS 新日本フィル 超! ジルベスター・コンサート 2021→2022 大晦日だよアキラさん☆あぁ下町の鐘が鳴る [出演] 宮川彬良(指揮・ピアノ)、上野耕平(サクソフォン)、田中展子(メゾ・ソプラノ)、加未徹(テノール)、新日本フィルハーモニー交響楽団 [演目] あぁ下町の鐘が鳴る「東京ドドンパ娘」「東京キッド」「東京の屋根の下」「ウナ・セラディ・東京」「パトロネージュの歌 2021」	1213人
4	1月3日(月)	ニューイヤーコンサート2022 [出演] 藤岡幸夫(指揮)、野津雄太(フルート)、田添菜穂子(司会)、新日本フィルハーモニー交響楽団 [演目] J.シュトラウスⅡ: 喜歌劇『こもり』序曲、ハイドン(ホフマン): フルード協奏曲 ニ長調、J.シュトラウスⅡ: トリッチ・トラッチ・ポルカ op. 214、	1613人

## ■新日本フィルハーモニー交響楽団との共催公演

ルビー〈アフタヌーン・コンサート・シリーズ〉(名曲シリーズ)			
回	実施日	事業内容	入場者数
1	5月14日(金)	ルビー〈アフタヌーン・コンサート・シリーズ〉第39回	536人
	5月15日(土)	[出演] 崔文殊(指揮・ヴァイオリン)	673人
2	7月9日(金)	ルビー〈アフタヌーン・コンサート・シリーズ〉第40回	859人
	7月10日(土)	[出演] 鈴木雅明(指揮)	1099人
3	9月24日(金)	すみだクラシックへの扉 第1回	742人
	9月25日(土)	[出演] 大植英次(指揮)吉井瑞穂(オーボエ)西江辰郎(コンサートマスター)	853人
4	10月8日(金)	すみだクラシックへの扉 第2回	819人
	10月9日(土)	[出演] 秋山和慶(指揮)三浦謙司(ピアノ)	938人
5	11月19日(金)	すみだクラシックへの扉 第3回	790人
	11月20日(土)	[出演] 下野竜也(指揮)篠崎友美(ヴィオラ)	737人
6	1月21日(金)	すみだクラシックへの扉 第4回	1592人
	1月22日(土)	[出演] 佐渡裕(指揮)反田恭平(ピアノ) ※新型コロナウイルスの影響により出演者変更	1588人
7	3月25日(金)	すみだクラシックへの扉 第5回	983人
	3月26日(土)	[出演] 大友直人(指揮)清水和音(ピアノ) ※新型コロナウイルスの影響により出演者変更	1105人
トパーズ〈トリフォニー・シリーズ〉(定期演奏会)			
回	実施日	事業内容	入場者数
1	4月16日(金)	第632回 トパーズ〈トリフォニー・シリーズ〉	586人
	4月17日(土)	[出演] 井上道義(指揮)豊嶋泰嗣[ヴァイオリン] ※新型コロナウイルスの影響により出演者・曲目変更	780人
2	6月25日(金)	第634回 トパーズ〈トリフォニー・シリーズ〉	556人
	6月26日(土)	[出演] 尾高忠明(指揮)、高木竜馬(ピアノ) ※新型コロナウイルスの影響により出演者・曲目変更	713人
3	7月30日(金)	第636回 トパーズ〈トリフォニー・シリーズ〉	507人
	7月31日(土)	[出演] 三橋敬子(指揮)、小林厚子(ソプラノ)、清水華澄(メゾ・ソプラノ)、宮里直樹(テノール)、須藤慎吾(バス) ※新型コロナウイルスの影響により出演者・曲目変更	750人
4	9月11日(金)	第637回 トパーズ〈トリフォニー・シリーズ〉 [出演] 久石譲(指揮)	965人
5	11月27日(土)	第638回 トパーズ〈トリフォニー・シリーズ〉 [出演] 井上道義(指揮)、亀井聖矢(ピアノ) ※新型コロナウイルスの影響により出演者・曲目変更	1364人

6	1月27日(木)	第639回 トパーズ<トリフォニー・シリーズ> [出演] 佐渡裕(指揮)、西江辰郎(ヴァイオリン) ※新型コロナウイルスの影響により出演者・曲目変更	986人
7	2月19日(土)	第640回 トパーズ<トリフォニー・シリーズ> [出演] 小泉和裕(指揮)	795人

室内楽シリーズ			
回	実施日	事業内容	入場者数
1	4月14日(水)	室内楽シリーズ XVII 第140回 「同時代に生きた作曲家たち」Produced by 西江辰郎(NJP コンサートマスター)	204人
2	6月23日(水)	室内楽シリーズ XVII 第141回 「ウィーンの森を一緒に散歩しませんか？」Produced by 重松希巳江(NJP 首席クラリネット奏者)	193人
3	7月7日(水)	室内楽シリーズ XVII 第142回 「二面性を持つ楽器、コントラバス」Produced by 藤井将矢(NJP コントラバス奏者)	174人
4	9月21日(火)	室内楽シリーズ XVIII 第143回 「幸福に寄せて」Produced by 瀨本実加(NJP ヴィオラ奏者)	122人
5	10月6日(水)	室内楽シリーズ XVIII 第144回 「新日プラス〜下吹き陣によるアンサンブル」Produced by 鈴木崇弘(NJP バストロンボーン奏者)	144人
6	11月17日(水)	室内楽シリーズ XVIII 第145回 「芸術の秋に…」Produced by 岸田晶子(NJP 第1ヴァイオリン奏者)	196人
7	1月25日(火)	室内楽シリーズ XVIII 第146回 「コールリッジ=テイラー探訪にご一緒しませんか？」Produced by マルコス・ペレス・ミランダ(NJP クラリネット副主席&バスクラリネット奏者)	138人
8	2月17日(木)	室内楽シリーズ XVIII 第147回 「My favorite songs」Produced by 村松裕子(NJP コントラバス奏者)	163人
9	3月23日(水)	室内楽シリーズ XVIII 第148回 「愛に触れて」Produced by 澤田和慶(NJP 第一ヴァイオリン奏者)	217人

その他			
実施日	事業内容		入場者数
12月18日(土)	「第九」特別演奏会 2021 [出演] 鈴木秀美(指揮)、ソプラノ:森谷真理(ソプラノ)、中島郁子(アルト)、福井敬(テノール)、萩原潤(バリトン)、二期会合唱団		1,679人

大小ホールの特徴を活かす多彩な公演を共催として招致することで公演事業の充実を図ったが、海外からの入国規制の影響で外国人アーティスト公演は公演延期や中止が多かった。また、区内で活動する音楽団体が中心となって例年実施している「すみだストリートジャズフェスティバル」は、今年度は無観客でのイベントとして開催した。

### ■共同主催公演

第11回すみだストリートジャズフェスティバル プレイベント			
実施日	会場	出演団体	入場者数
8月15日(日)	大ホール	1 うみねこや	—
		2 MASH 弦楽団	—
		3 スカラベ	—
		4 飯田久美子 with MISTRAL	—
		5 jaja 秋山幸男トリオ	—

		6	Soul Edge	—
		7	ORISHA	—
	小ホール	8	Grand Royal Tokyo	—
		9	Praise	—
		10	BANANA NEEDLE	—

## ■その他共催公演

回	実施日	事業内容	入場者数
1	9月23日(木・祝)	NHKスペシャル 映像の世紀コンサート [出演] 加古隆(ピアノ)、岩村力(指揮)、東京フィルハーモニー交響楽団(管弦楽)、山根基世(ナレーション)	1,399人
2	11月6日(土)	山中千尋デビュー20周年記念コンサート [出演] 山中千尋(ピアノ)ほか	612人
3	12月10日(金)	ディズニー・オン・クラシック ～まほうの夜の音楽会 2021 [出演] 永峰大輔(指揮)、THE ORCHESTRA JAPAN(管弦楽)、ささきフランチェスコ(ナビゲーター)ほか	998人
4	3月6日(日)	群馬交響楽団 東京公演 [出演] 藤岡幸夫(指揮)、神尾真由子(ヴァイオリン)、群馬交響楽団(管弦楽)	693人
	5月20日(木)	【公演延期】エリーナ・ガランチャ スペシャルリサイタル [出演] エリーナ・ガランチャ(ソプラノ) ほか ※新型コロナウイルスの影響により、令和4年度へ公演延期	—
	5月24日(月)	【公演延期】エリーナ・ガランチャ スペシャルリサイタル [出演] エリーナ・ガランチャ(ソプラノ) ほか ※新型コロナウイルスの影響により、令和4年度へ公演延期	—
	11月22日(月)	【公演中止】ポール・モーリア メモリアルコンサート [出演] ジュラルール・ガンピュス(指揮) ほか ※新型コロナウイルスの影響により公演中止	—
	12月4日(土)	【公演中止】ケルティック・クリスマス 2020 [出演] アヌーナ、ザ・ハイキングス、デヴィット・ギーニー ※新型コロナウイルスの影響により公演中止	—
	12月23日(木)	【公演中止】クリスマス☆ゴスペル 2021～グローリー・ゴスペル・シンガーズ～ [出演] グローリー・ゴスペル・シンガーズ ※新型コロナウイルスの影響により公演中止	—
	3月19日(土)	【公演中止】ヘルシンキ大学男声合唱団 [出演] ヘルシンキ大学男声合唱団(合唱) ※新型コロナウイルスの影響により公演中止	—

## (2) アウトリーチ事業

オーケストラ演奏を地域に届ける「コミュニティ・コンサート」、区立小中学校での「音楽指導事業」、福祉施設等での「ふれあいコンサート」など、アウトリーチ活動を実施した。新型コロナウイルスの影響下でも、学校や施設側との丁寧な打ち合わせと協力により、実施会場に合わせた感染症対策を施すことで予定通りの実施となった。

## ■新日本フィル・コミュニティ・コンサート

9月13日(月) すみだトリフォニーホール	新日本フィル・コミュニティ・コンサート [概要]アウトリーチ活動の核となる事業。第1回目は墨田区立緑小学校を対象とし地域住民等が来場。第2回目は一般区民を対象に実施した。 [出演] 水戸博之(指揮)、新日本フィルハーモニー交響楽団、岩崎瑞徳(司会) [演目] ロッシーニ/歌劇《ウィリアム・テル》序曲より「スイス軍隊の行進」 ベートーヴェン/交響曲 第5番《運命》より第1楽章	【第1回】 750人 【第2回】 472人
--------------------------	--	--------------------------------

## ■音楽指導事業

回	実施日	会場	指導内容	指導者数	生徒数
1	6月2日(水)	業平小学校	弦楽四重奏	4人	89人
2	6月29日(火)	東吾嬬小学校	ヴァイオリン、コントラバス	2人	108人
3	7月1日(木)	寺島中学校	弦楽四重奏	4人	125人
4	7月8日(木)	言問小学校	フルート、チェロ、ピアノ	3人	71人
5	7月19日(月)	錦糸中学校	弦楽四重奏	4人	48人
6	9月7日(火)	文花中学校	弦楽四重奏	4人	75人
7	9月14日(火)	第四吾嬬小学校	トロンボーン、ピアノ	2人	75人
8	9月15日(水)	横川小学校	ヴァイオリン、ヴィオラ、コントラバス	3人	141人
9	9月25日(土)	第三吾嬬小学校	ヴァイオリン、チェロ	2人	95人
10	9月29日(水)	隅田小学校	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ	3人	74人
11	10月14日(木)	錦糸小学校	チェロ、ピアノ	2人	104人
12	10月20日(水)	柳島小学校	ヴァイオリン、打楽器2	3人	166人
13	10月20日(水)	緑小学校	トランペット、ピアノ	2人	177人
14	11月16日(火)	第二寺島小学校	トロンボーン、ピアノ	2人	89人
15	11月17日(水)	中川小学校	フルート、ファゴット、ピアノ	3人	54人
16	11月22日(月)	中和小学校	ヴァイオリン、ピアノ	2人	49人
17	11月30日(火)	八広小学校	ヴァイオリン、コントラバス、ピアノ	3人	171人
18	12月1日(水)	文花中学校(夜間)	ホルン、ピアノ	2人	38人
19	12月2日(木)	吾嬬立花中学校	ヴァイオリン、ピアノ	2人	162人
20	12月8日(水)	曳舟小学校	弦楽四重奏	4人	165人
21	12月9日(金)	菊川小学校	ヴァイオリン、コントラバス	2人	105人
22	12月14日(火)	第一寺島小学校	ホルン、トロンボーン、チューバ	3人	132人
23	12月15日(水)	吾嬬第二中学校	弦楽四重奏	4人	111人
24	12月17日(金)	二葉小学校	トランペット、ピアノ	2人	221人
25	12月20日(月)	両国小学校	ヴァイオリン、ヴィオラ、ピアノ	3人	166人
26	12月22日(水)	第三寺島小学校	ヴァイオリン、チェロ、クラリネット、ピアノ	4人	102人
27	12月23日(木)	押上小学校	ヴァイオリン、コントラバス	2人	80人
28	1月18日(火)	立花吾嬬の森小学校	トロンボーン、ピアノ	2人	131人
29	1月24日(月)	本所中学校	ヴァイオリン、ハープ	2人	135人
30	2月1日(火)	梅若小学校	ヴァイオリン、コントラバス	2人	141人
31	2月4日(金)	小梅小学校	フルート、オーボエ、ファゴット	3人	111人
32	2月8日(火)	外手小学校	トロンボーン、打楽器、ハープ	3人	157人
33	3月2日(水)	両国中学校	ヴァイオリン、チェロ、ピアノ	3人	234人
34	3月4日(金)	墨田中学校	チェロ、フルート、ピアノ	3人	148人
35	3月7日(月)	堅川中学校	トロンボーン、ピアノ	2人	258人
36	3月8日(火)	桜堤中学校	弦楽四重奏	4人	179人
合計				100人	4,487人

## ■ふれあいコンサート

回	実施日	会場	内容	出演者数	観客数
1	7月30日(金)	区役所2階リバーサイドホール	弦楽五重奏	5人	82人
2	9月24日(金)	亀沢のぞみの家	フルート、オーボエ、ホルン	3人	32人
3	10月23日(土)	シルバープラザ梅若 うめわか高 齢者在宅サービスセンター	打楽器三重奏	3人	52人
4	10月26日(火)	すみだ福祉保健センター	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ	3人	29人
5	11月20日(土)	さくら橋コミュニティセンター	ホルン、トロンボーン、チューバ	3人	51人

6	11月26日(金)	本所保健センター	ヴァイオリン、コントラバス、打楽器	3人	17人
7	12月18日(土)	なりひらホーム	弦楽四重奏	4人	35人
8	12月22日(水)	おおぞらひだまり	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ	3人	102人
9	12月24日(金)	墨田さんさんプラザ	打楽器三重奏	3人	50人
10	12月28日(火)	喜楽里すみだ工房	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ	3人	52人
11	1月18日(火)	すみだふれあいセンター	オーボエ、クラリネット、ファゴット	3人	50人
12	2月16日(水)	すみだトリフォニーホール小ホール1回目	弦楽四重奏、ピアノ	5人	78人
13	2月16日(水)	すみだトリフォニーホール小ホール2回目	弦楽四重奏、ピアノ	5人	69人
14	3月2日(水)	梅若橋コミュニティ会館	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ピアノ	5人	60人
15	3月5日(土)	すみだトリフォニーホール小ホール1回目	弦楽五重奏、打楽器	6人	102人
16	3月5日(土)	すみだトリフォニーホール小ホール2回目	弦楽五重奏、打楽器	6人	109人
17	2月26日(土)	八広図書館	新型コロナウイルスの影響により中止	—	—
合計				63人	970人

### (3) その他、パイプオルガン及びホールに親しむ機会の提供

音楽をより身近に感じてもらう機会を設け、来場者の拡大を図った。

#### ■オルガン・コンサート&バックステージ・ツアー、ホール探訪

実施日	事業内容	参加者数
6月1日(火)	オルガン・コンサート&バックステージ・ツアー2021-22 対象:[第1回] 視覚に障がいのある方 [第2回] 聴覚に障がいのある方	[第1回] 3人
		[第2回] 12人
10月26日(火)	オルガン・コンサート&バックステージ・ツアー2021-22 対象:一般	[第1回] 18人
		[第2回] 23人
2月24日(木)	オルガン・コンサート&バックステージ・ツアー2021-22 対象:[第1回] 車椅子ご利用の方 [第2回] 一般	[第1回] 24名 (車椅子7人、付添17人)
		[第2回] 27人
3月2日(水)	オルガン・コンサート&バックステージ・ツアー2021-22 対象:未就学児	[第1回] 30人
		[第2回] 30人
11月14日(日)	ホール探訪 2021 パイプオルガン演奏や普段は見ることができない舞台機構、ロビーの アート作品等を楽しむ企画 対象:一般	[第1回]27人 [第2回]24人

#### ■区民向けオルガン体験会「パイプオルガンを弾いてみよう!!」

「一回体験コース」※鍵盤楽器経験不問

実施日	事業内容	参加者数
6月12日(土)	パイプオルガンを弾いてみよう!! 2021-22 対象:[第1回] 墨田区在住・在学の小学3年生~中学生 [第2回] 墨田区在住・在勤・在学の高校生以上	[第1回] 7人 (体験者3人、見学者4人)
		[第2回] 5人
8月7日(土)	パイプオルガンを弾いてみよう!! 2021-22 対象:[第1回] 墨田区在住・在学の小学3年生~中学生 [第2回] 墨田区在住・在勤・在学の高校生以上	[第1回] 18人 (体験者6人、見学者12人)
		[第2回] 7人 (体験者6人、見学者1人)
2月4日(金)	パイプオルガンを弾いてみよう!! 2021-22 対象:[第1回] 墨田区在住・在勤・在学の高校生以上 [第2回] 墨田区在住・在勤・在学の高校生以上	[第1回] 5人 (体験者4人、見学者1人)
		[第2回] 9人 (体験者6人、見学者3人)

「じっくり体験コース」※鍵盤楽器経験のある方

実施日	事業内容	参加者数
6月15日(火) 6月16日(水) 6月17日(木) 6月18日(金)	パイプオルガンを弾いてみよう！！2021-22 対象:墨田区在住・在勤・在学の小学3年生以上どなたでも可 6月15日(火) 楽器説明&グルーブレッスン 6月16日(水) 個人レッスン※3名ずつ 6月17日(木) 個人レッスン※3名ずつ 6月18日(金) 受講生同士で弾きあい聴きあい試演会	体験者6人 [最終日の試演会] 11人 (体験者6人、見学者5人)
8月1日(日) 8月2日(月) 8月3日(火) 8月4日(水)	パイプオルガンを弾いてみよう！！2021-22 「夏休み自由研究スペシャル！」 対象:墨田区在住・在学の小学3年生～中学生 8月1日(日) 楽器説明&グルーブレッスン 8月2日(月) 個人レッスン※3名ずつ 8月3日(火) 個人レッスン※3名ずつ 8月4日(水) 受講生同士で弾きあい聴きあい試演会	体験者6人 [最終日の試演会] 17人 (体験者6人、見学者11人)
1月4日(火) 1月5日(水) 1月6日(木) 1月7日(金)	パイプオルガンを弾いてみよう！！2021-22 対象:墨田区在住・在勤・在学の小学3年生以上どなたでも可 1月4日(火) 楽器説明&グルーブレッスン 1月5日(水) 個人レッスン※3名ずつ 1月6日(木) 個人レッスン※3名ずつ 1月7日(金) 受講生同士で弾きあい聴きあい試演会	体験者6人 [最終日の試演会] 24人 (体験者6人、見学者18人)

その他		
2月13日(日)	お昼下がりのランチタイムコンサート～お話しピアノ・コンサート～ [概要] ピアノ初心者、初級者にとってなじみのある名曲をわかりやすいお話と共に楽しむコンサート。 [出演] 伊賀あゆみ(ピアノ) [演目] ショパン:小犬のワルツ、ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ第14番《月光》	262人

7. 区民等による音楽活動の促進及び育成

音楽による次世代育成やコミュニティ形成に資するべく、トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラの持続的な練習活動および区内の音楽団体が集う「すみだ音楽祭」を開催した。

(1) トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラの運営

回	実施日	事業内容	入場者数
1	11月21日(日)	【公演中止】第31回演奏会 [出演] 松尾葉子(音楽監督・指揮)、トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ ※新型コロナウイルスの影響により中止	—
2	3月27日(日)	【公演中止】第32回演奏会 [出演] 松尾葉子(音楽監督・指揮)、トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ ※新型コロナウイルスの影響により中止	—

※新型コロナウイルスの影響により令和3年度は6回のみ練習を実施。

※令和4年3月27日(日)に予定していた「第32回演奏会」公演は中止とし、保護者を対象とした公開練習を実施(指導者:松尾音楽監督、新日本フィル楽団員)。参加者(団員・指導者)約45名、来場者(保護者)約45名。

(2) 区民音楽祭「すみだ音楽祭2021」の実施

実施日	施設	出演団体	入場者数
8/22(日)	大ホール	1 墨田シルバーアンサンブル	130人
		2 すみだマンドリンクラブ	76人
		3 墨田区吹奏楽団	91人

8/28(土)	大ホール	4	立志舎高校吹奏楽部	63人
		5	日本大学第一中学・高等学校 音楽部	140人
		6	AZUMA 吹奏楽団	55人
8/29(日)	大ホール	7	コールアミーガ	84人
		8	混声合唱団プリマ&プリモ	261人
合 計				900人

## 8. 公演情報等の集配業務

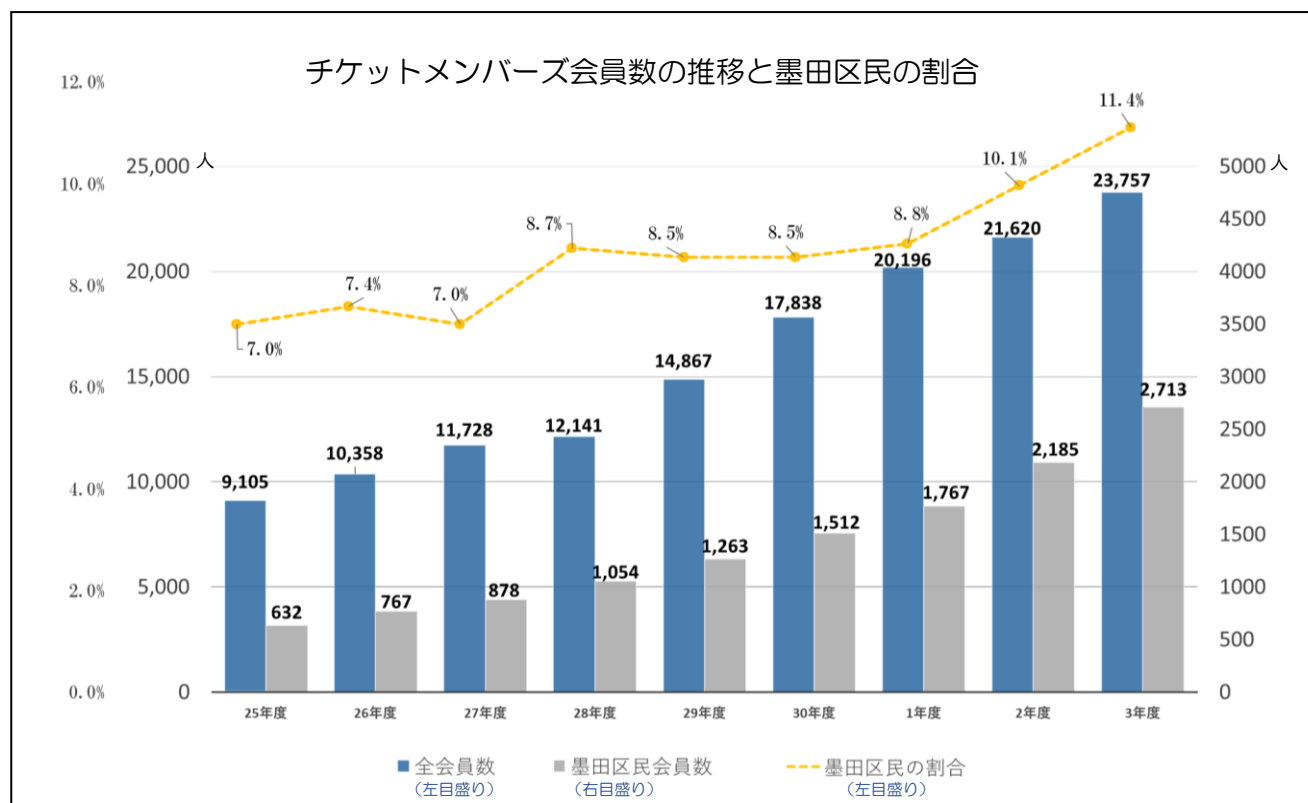
当ホールの存在感を高めるため、館内や錦糸町駅周辺を中心としたサインやポスターの掲出を行うとともに、公演情報についてはWEB、SNS 等を中心に発信した。

### (1) 会員組織「トリフォニーホール・チケットメンバーズ」年会費及び特典

年会費は無料で、会員には特典として定期的に公演情報等をメールマガジンで配信、チケット先行予約、チケット割引販売、チケットのオンライン購入、公開リハーサル招待、ホール近隣ホテルのレストラン割引サービスがある。

### (2) トリフォニーホール・チケットメンバーズ会員数と墨田区民の割合

新型コロナウイルスの影響が続く中でも戦略的な事業展開を図ったことから、全体の登録者数は増加傾向にあり、墨田区民の登録者の割合も大きく伸びている。



### (3) 地域別会員数の推移

年度	会員数 割合	合計	墨田区	江東区	葛飾区	江戸川区	その他 23区	23区以外 都内	千葉県	神奈川県	埼玉県	茨城県	その他 の県
3年度	会員数	23,757	2,713	1,001	408	636	6,527	1,852	3,430	2,670	1,869	414	2,237
	割合	100%	11.4%	4.2%	1.7%	2.7%	27.5%	7.8%	14.4%	11.2%	7.9%	1.7%	9.5%
2年度	会員数	21,620	2,185	887	374	556	6,109	1,634	3,148	2,462	1,747	383	2,135
	割合	100%	10.1%	4.1%	1.7%	2.6%	28.3%	7.6%	14.6%	11.4%	8.1%	1.8%	9.7%
1年度	会員数	20,196	1,767	800	349	499	5,687	1,596	3,001	2,373	1,659	371	2,094
	割合	100%	8.8%	4.0%	1.7%	2.5%	28.0%	7.9%	14.9%	11.8%	8.2%	1.8%	10.4%



## 9. 施設の利用及び維持管理に関する業務

※新型コロナウイルスの影響による臨時休館中の日数・区分数等は除く。

### (1) 施設利用実績

大ホール (1,801 席)	3 年度	2 年度	元年度
利用可能日数	287	234	310
利用不可日数	78	131	56
利用日数	244	183	273
本番公演数	152	83	166
新日本フィル	36	42	46
財団	52	24	34
一般	64	100	103
<b>日数利用率</b>	<b>85%</b>	<b>78%</b>	<b>88%</b>
利用可能区分数 (3 区分)	829	651	856
利用区分数 (3 区分)	553	410	665
新日本フィル	255	308	319
財団	158	135	181
一般	140	222	239
<b>区分利用率</b>	<b>67%</b>	<b>63%</b>	<b>78%</b>

小ホール (252 席)	3 年度	2 年度	元年度
利用可能日数	282	218	298
利用不可日数	83	147	68
利用日数	232	120	272
本番公演数	221	115	257
新日本フィル	10	9	8
財団	4	4	14
一般	207	244	258
<b>日数利用率</b>	<b>82%</b>	<b>55%</b>	<b>91%</b>
利用可能区分数 (3 区分)	820	626	816
利用区分数 (3 区分)	564	288	654
新日本フィル	39	37	42
財団	9	22	58
一般	516	595	626
<b>区分利用率</b>	<b>69%</b>	<b>46%</b>	<b>80%</b>

練習室 1 (87.2 m <sup>2</sup> )	3 年度	2 年度	元年度
利用可能日数	279	222	300
利用不可日数	88	143	66
利用日数	166	109	251
<b>日数利用率</b>	<b>59%</b>	<b>49%</b>	<b>84%</b>
利用可能区分数 (3 区分)	578	421	688
利用区分数 (3 区分)	230	150	443
<b>区分利用率</b>	<b>40%</b>	<b>36%</b>	<b>64%</b>

練習室 2 (20.7 m <sup>2</sup> )	3 年度	2 年度	元年度
利用可能日数	273	209	302
利用不可日数	92	156	64
利用日数	191	120	283
<b>日数利用率</b>	<b>70%</b>	<b>57%</b>	<b>94%</b>
利用可能区分数 (3 区分)	545	368	689
利用区分数 (3 区分)	257	157	550
<b>区分利用率</b>	<b>47%</b>	<b>43%</b>	<b>80%</b>

練習室 3 (17.7 m <sup>2</sup> )	3 年度	2 年度	元年度
利用可能日数	269	217	301
利用不可日数	96	148	65
利用日数	169	136	286
<b>日数利用率</b>	<b>63%</b>	<b>63%</b>	<b>95%</b>
利用可能区分数 (3 区分)	539	334	691
利用区分数 (3 区分)	201	147	562
<b>区分利用率</b>	<b>37%</b>	<b>44%</b>	<b>81%</b>

### (2) パイプオルガン利用実績

	3 年度	2 年度	元年度
本番利用	40 回	21 回	29 回
レジスト及び リハーサル利用	24 回	27 回	38 回
合 計	64 回	48 回	67 回

## (3) 公演実施状況 (ジャンル別)

大ホール(1,801 席) ジャンル	3 年度		2 年度		元年度	
	公演数	構成比	公演数	構成比	公演数	構成比
クラシック	111	73.0%	72	86.8%	113	68.1%
オーケストラ	80	52.6%	57	65.7%	97	58.4%
新日本フィル	43	28.3%	43	51.8%	44	26.5%
その他(プロ)	2	1.3%	1	1.2%	4	2.4%
その他(アマ)	35	23.0%	13	15.7%	49	29.5%
室内楽・器楽	0	0.0%	2	2.4%	4	2.4%
ピアノ	2	1.3%	0	0.0%	5	3.0%
オルガン	28	18.4%	13	15.7%	7	4.2%
オペラ・オペレッタ	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%
声 楽	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
現代音楽	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合 唱	3	2.0%	0	0.0%	17	10.2%
吹奏楽	5	3.3%	0	0.0%	4	2.4%
ジャズ・ポップス	12	7.9%	0	0.0%	8	4.8%
演 歌	0	0.0%	1	1.2%	0	0.0%
音楽教室等発表会	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
コンクール	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
邦 楽	0	0.0%	1	1.2%	0	2.2%
演 芸	0	0.0%	1	1.2%	0	0.0%
その他	21	13.8%	8	9.6%	24	14.5%
合 計	152	100%	83	100%	166	100%
入場者数	87,319		39,837		181,663	
平均入場者数	574		479		1,094	

小ホール(252 席) ジャンル	3 年度		2 年度		元年度	
	公演数	構成比	公演数	構成比	公演数	構成比
クラシック	122	55.2%	71	61.8%	159	61.8%
オーケストラ	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
新日本フィル	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他(プロ)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他(アマ)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
室内楽・器楽	58	26.2%	44	38.3%	100	38.9%
ピアノ	34	15.4%	17	14.8%	24	9.3%
オルガン	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
オペラ・オペレッタ	0	0.0%	0	0.0%	4	1.6%
声 楽	30	13.6%	10	8.7%	31	12.0%
現代音楽	5	2.3%	1	0.8%	4	1.6%
合 唱	0	0.0%	0	0.0%	13	5.1%
吹奏楽	1	0.5%	0	0.0%	2	0.8%
ジャズ・ポップス	3	1.4%	0	0.0%	4	1.6%
演 歌	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
音楽教室等発表会	43	19.5%	21	18.3%	40	15.6%
コンクール	247	12.2%	11	9.6%	9	3.5%
邦 楽	5	2.3%	2	1.7%	10	3.9%
演 芸	4	1.8%	1	0.8%	3	1.1%
その他	11	5.0%	8	7.0%	13	5.0%
合 計	221	100%	115	100%	257	100%
入場者数	19,127		8,450		34,271	
平均入場者数	86		73		133	

## II すみだ北斎美術館を核とする美術等の振興事業

### 1 資料収集・保管事業

区の収集方針に従い、学芸員が専門性を活かしながら積極的に資料を調査し、作品収集に貢献した。区の求めに応じて候補資料の選定から収集まで全面的に協力を行うとともに、浮世絵及び関連資料を次代へと受け継げるよう適切に収蔵品を管理・保管した。

#### (1) 資料収集

区が収集する資料の候補について、専門的な立場から情報収集及び調査研究を行い、すみだ北斎美術館資料収集委員会及び評価委員会の運営に協力した。

また、新たに収集した資料の撮影及び収蔵データベースへの登録を行った。

本年度も新たに寄託作品を受け入れることとなり、今後の展覧会企画につなげることができた。

#### (2) 資料保管

資料を安全に維持保存するため、館内の環境整備及び資料の修復を行った。

- ・環境整備: 虫菌害環境調査及びIPM(防除対策)のコンサルティングを実施し、IPM計画を策定のうえ、館内の環境整備を図った。  
資料保管容器を35点制作した。
- ・資料修復: 肉筆6点の修復を実施した。
- ・燻 蒸: 新規に収蔵した作品や図書資料の燻蒸を行った。
- ・学術研究等のための資料の撮影又は熟覧:
  - 九州国立博物館、浮世絵版画10点の熟覧
  - 目黒区美術館、浮世絵版画12点、近代版画1点の熟覧
  - 板橋区立美術館、肉筆画1点の熟覧
  - 講談社(九州国立博物館委託)、当館寄託作品1点の資料撮影と熟覧
- ・資料の貸出状況:
  - (作品貸出)  
九州国立博物館 特別展「北斎」へ版画10点、版本2冊、寄託資料1点
  - (作品借用)  
実施なし

### 2 調査研究事業

北斎を中心にその門人の作品や関連及び交流のあった人物、すみだをはじめとする北斎ゆかりの地との関わりなど、多角的な視点から調査研究を行った。その成果をデータベースに反映させ情報の蓄積や充実を図り、展示事業や刊行物等を通じて一般から専門家まで広く情報を発信することができた。

「しりあがりサン北斎サン」展は、人気の漫画家であり現代アーティストのしりあがり寿氏と当館収蔵の北斎作品をコラボレーションさせた展覧会で、北斎が現代のアートに濃厚な影響を与えていることが伝わるようにした。令和2年の緊急事態宣言で令和3年度に延期となった「THE北斎」展は、これまで蓄積してきた「富嶽三十六景」に関する知見を展覧会としてわかりやすくまとめ、北斎の代表的なシリーズ「富嶽三十六景」の魅力を詳しく伝えられるように努めた。その成果は令和2年に『THE 北斎一富嶽三十六景一』(講談社アートボックス)として出版し、発売1年足らずで2度重版する人気書籍となった。また令和2年度に新しく寄託された稀少な北斎の版本火鉢を展示し、研究した成果を紀要にまとめることができた。「学者の愛したコレクション」展は、当館にとって重要なピーター・モース及び檜崎宗重コレクションを定期的に顕彰する使命があり開催したが、平成28年度に行った展覧会とは切口に変化をもたせ、モース氏と檜崎氏の業績や人柄に焦点をあてる内容とした。「北斎で日本史」展では、北斎の歴史的な絵の出典を調査し、作品解説の中で可能

な限り明記し、来館者に歴史的な知識を付与するように努めた。「北斎花らんまん」展は、作品に描かれている植物を調査し、花の解説の詳しいキャプションをつけ、来館者に興味をもって北斎の絵を観察してもらえるように努めた。

また、テレビ番組への専門家枠としての出演、長野県立美術館北斎展企画委員会への出席、すみゆめ参加団体へのレクチャーなど館外でも北斎の業績の紹介に努めた。

このほか、『すみだ北斎美術館 研究紀要』第1号を発行し、学芸員による論文4本を掲載した。

### 3 展示事業

徹底した新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じ、コロナ禍の状況でも来館者確保に努めた企画展を開催した。また、講座やイベントなどの関連企画は中止し、教育普及活動も縮小せざるを得ない状況であったが、企画展に関するスライドトークのオンライン配信などを行った。

#### (1) 常設展示の実施

4階の常設展示室では、「すみだと北斎とのつながり」や「北斎の画業と生涯」をテーマとして、北斎の代表的な作品を高精細レプリカにより紹介するとともに、情報端末を活用した資料の展示を行った。

また、これら資料の一部展示替えを3回行った。

- ・ 観覧料:一般 400 円、高大生・65 歳以上 300 円

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館:令和3年4月25日(日)から5月30日(日)

まで

- ・ 常設展示の観覧者数

(単位:人)

観覧者数	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	招待券	ぐるっとパス	計
常設展示のみ	5,628	667	1,320	871	571	180	109	41	1,232	10,619
企画展示と同時観覧	26,996	2,565	7,024	562	1,628	2,073	1,507	4,004		46,359
計	32,624	3,232	8,344	1,433	2,199	2,253	1,616	4,045	1,232	56,978

- ・ 常設展示のみの観覧料収入

(単位:円)

観覧料収入	一般	高大生	65歳以上	計
個人	2,130,800	192,780	371,400	2,694,980
前売(個人)	0	0	0	0
団体	0	0	0	0
計	2,130,800	192,780	371,400	2,694,980

#### (2) 企画展示の実施

令和2年度に延期とした1回の企画展を含め、年間6回の企画展を開催した(令和2年度からの継続、次年度への継続含む)。新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館に伴い、外部との関連のあった「しりあがりサン北斎サン」展は会期を延長し、「学者の愛したコレクション」展は会期を短縮して開催した。また、令和2年度に引き続き「常設展プラス」を実施した。

研究成果の発表や展覧会の記録を目的とするとともに来館者サービスの一環として、リーフレットを作成販売した。

## ■会期、観覧者数等

回	展覧会タイトル	会期	観覧者数	1日平均
			観覧料収入	1日平均
1	筆魂 線の引力・色の魔力 —又兵衛から北斎・国芳まで—	4月1日～4月4日 (4日間)	1,638人	410人
			1,369,990円	342,498円
2	しりあがりサン北斎サン —クスッと笑える SHOW TIME!—	4月20日～7月10日 (40日間)	7,695人	193人
		臨時休館 4月25日～5月30日	5,678,860円	141,972円
3	THE北斎 —富嶽三十六景と幻の絵巻—	7月20日～9月26日 (60日間)	13,198人	220人
			12,015,640円	200,261円
4	学者の愛したコレクション —ピーター・モースと檜崎宗重—	10月12日～12月5日 (48日間)	9,517人	199人
			6,045,580円	125,950円
5	北斎で日本史 —あの人をどう描いたか—	12月21日～2月27日 (56日間)	9,508人	159人
			7,301,300円	121,684円
6	北斎花らんまん	3月15日～3月31日 (15日間)	3,172人	212人
			2,366,600円	157,774円
7	常設展プラス 隅田川両岸景色 図巻(複製画)と北斎漫画	12月21日～3月31日 (83日間)	1,631人	20人
			943,180円	11,364円
合計		令和3年度 (235日間)	46,359人	198人
			35,721,150円	150,993円

※企画展示と常設展プラスを同日に開催した期間がある。

## ■各展覧会の実施概要

### ① 筆魂 線の引力・色の魔力 —又兵衛から北斎・国芳まで—

- ・展示概要： 浮世絵の先駆とされる岩佐又兵衛をはじめ、浮世絵の始祖である菱川師宣、喜多川歌麿、東洲斎写楽、葛飾北斎、歌川国芳などの60人に及ぶ浮世絵師の肉筆画約125点を展覧した。

なかには重要文化財、重要美術品、新発見、再発見、初公開作品40点を含む展覧会とした。

- ・開催期間： 令和3年4月1日(木)から4月4日(日)まで
- ・開催施設： 4階、3階企画展示室
- ・観覧料： 一般1,200円、高大生・65歳以上900円、中学生・障がい者400円



葛飾北斎「魚介図」

・観覧者数(4月1日～4月4日)

観覧者数	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	※招待券	計
個人	726	75	227	8	76	54	58	414	1,638
団体	0	0	0	0	0	0			0
計	726	75	227	8	76	54	58	414	1,638

・観覧料収入(4月1日～4月4日)

観覧料収入	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	計
個人	830,160	66,060	193,500	3,120	29,760	1,122,600
前売(個人)	0	0	0	0	0	0
団体	247,390	0	0	0	0	247,390
計	1,077,550	66,060	193,500	3,120	29,760	1,369,990

② しりあがりサン北斎サン ークスツと笑える SHOW TIME! —

・展示概要： 人気の漫画家であり現代アーティストでもある、しりあがり寿氏と当館収蔵の北斎作品をコラボレーションさせた展覧会で、平成 29 年度に 1 週間だけ開催した「ちょっと可笑しなほぼ三十六景 しりあがり寿 北斎と戯れる」に、新作を加え新たなテーマも交え発展させて開催した展覧会である。

・開催期間： 令和3年4月 20 日(火)から7月 10 日(土)まで

・臨時休館： 令和3年4月 25 日(日)から5月 30 日(日)

・開催施設： 4階、3階企画展示室

・観覧料： 一般1,000円、高大生・65歳以上700円、中学生・障がい者300円



葛飾北斎「富嶽三十六景 凱風快晴」

・観覧者数

観覧者数	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	招待券	計
個人	5,071	293	858	61	303	294	273	542	7,695
団体	0	0	0	0	0	0			0
計	5,071	293	858	61	303	294	273	542	7,695

・観覧料収入

観覧料収入	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	計
個人	4,806,000	198,940	568,260	15,600	90,060	5,678,860
前売(個人)	0	0	0	0	0	0
団体	0	0	0	0	0	0
計	4,806,000	198,940	568,260	15,600	90,060	5,678,860

③ THE北斎 一富嶽三十六景と幻の絵巻—

・展示概要： オリンピック・パラリンピックのインバウンドを意識し、北斎の「富嶽三十六景」シリーズと「隅田川両岸景色図巻」という当館が誇る 2 大名品を軸に、令和 2 年度に新しく寄託された稀少な北斎の版本火鉢を初公開するなど、北斎の名品を集めた展覧会である。



葛飾北斎「隅田川両岸景色図巻」(部分)

- ・開催期間：令和3年7月20日(火)から9月26日(日)まで
- ・開催施設：4階、3階企画展示室
- ・観覧料：一般1,200円、高大生・65歳以上900円、中学生・障がい者400円

・観覧者数

観覧者数	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	招待券	計
個人	8,329	755	1,896	215	459	628	394	522	13,198
団体	0	0	0	0	0	0			0
計	8,329	755	1,896	215	459	628	394	522	13,198

・観覧料収入

観覧料収入	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	計
個人	9,482,400	658,080	1,613,160	84,080	177,920	12,015,640
前売(個人)	0	0	0	0	0	0
団体	0	0	0	0	0	0
計	9,482,400	658,080	1,613,160	84,080	177,920	12,015,640

④ 学者の愛したコレクション— ピーター・モースと檜崎宗重—

- ・展示概要 すみだ北斎美術館が所蔵する二大コレクション、ピーター・モースコレクションと檜崎宗重コレクションを、両コレクションの重要性を伝えつつ、二人の業績や人柄にも興味・関心をもってもらえるように展示した展覧会である。
- ・開催期間：令和3年10月12日(火)から12月5日(日)まで
- ・開催施設：4階、3階企画展示室
- ・観覧料：一般1,000円、高大生・65歳以上700円、中学生・障がい者300円



葛飾北斎「富嶽三十六景 武州玉川」

・観覧者数

観覧者数	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	招待券	計
個人	4,468	343	2,043	78	312	376	359	1,538	9,517
団体	0	0	0	0	0	0			0
計	4,468	343	2,043	78	312	376	359	1,538	9,517

・観覧料収入

観覧料収入	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	計
個人	4,233,800	234,360	1,355,200	23,100	90,180	5,936,640
前売(個人)	108,940	0	0	0	0	108,940
団体	0	0	0	0	0	0
計	4,342,740	234,360	1,355,200	23,100	90,180	6,045,580



### ⑤ 北斎で日本史 —あの人をどう描いたか—

- ・展示概要：日本史に焦点をあて、北斎や門人の武者絵などを展示した。実際の歴史的事実と物語などの伝説とは解説を分け、作品を見ながら高校日本史レベルの日本史がわかるようにキャプションを工夫した展覧会である。
- ・開催期間：令和3年12月21日(火)から  
令和4年2月27日(日)まで
- ・開催施設：3階企画展示室



葛飾北斎『画本武蔵鑑』下  
上杉輝虎入道兼信 武田晴信入道信玄

- ・観覧料：一般1,000円、高大生・65歳以上700円、中学生・障がい者300円

#### ・観覧者数

観覧者数	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	招待券	計
個人	5,470	663	1,261	98	306	486	319	905	9,508
団体	0	0	0	0	0	0			
計	5,470	663	1,261	98	306	486	319	905	9,508

#### ・観覧料収入

観覧料収入	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	計
個人	5,203,800	436,800	836,780	28,920	88,380	6,594,680
前売(個人)	230,620	238,000	0	0	0	468,620
団体	0	0	0	0	0	0
計	5,434,420	674,800	836,780	28,920	88,380	7,063,300

### ⑥ 北斎花らんまん

- ・展示概要：四季の花々をテーマに、展示期間に咲いている桜などの春の花々を中心として、季節の花々が描かれた作品を紹介し、北斎の作品に興味がある来館者層のみならず、花に興味がある層も楽しんでもらえるように、作品に描かれている花の解説の詳しいキャプションを交えて展示した展覧会である。
- ・開催期間：令和4年3月15日(火)から  
3月31日(木)まで
- ・開催施設：3階企画展示室



葛飾北斎「桔梗にとんぼ」

- ・観覧料：一般1,000円、高大生・65歳以上700円、中学生・障がい者400円

#### ・観覧者数

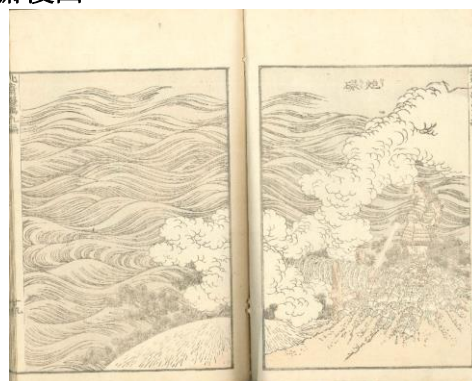
観覧者数	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	招待券	計
個人	1,869	284	510	66	116	152	95	80	3,172
団体	0	0	0	0	0	0			
計	1,869	284	510	66	116	152	95	80	3,172

・観覧料収入

観覧料収入	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	計
個人	1,783,800	194,040	335,720	19,380	33,660	2,366,600
前売(個人)	0	0	0	0	0	0
団体	0	0	0	0	0	0
計	1,783,800	194,040	335,720	19,380	33,660	2,366,600

⑦ 常設展プラス 隅田川両岸景色図巻(複製画)と北斎漫画

- ・開催期間：令和3年12月21日(火)から  
令和4年3月31日(木)まで
- ・開催施設：4階企画展示室
- ・観覧料：一般700円、  
高大生・65歳以上600円、  
中学生・障がい者200円



葛飾北斎『北斎漫画』九編

・観覧者数

観覧者数	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	招待券	計
個人	1,063	152	229	36	56	83	9	3	1,631
団体	0	0	0	0	0	0			0
計	1,063	152	229	36	56	83	9	3	1,631

・観覧料収入

観覧料収入	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	計
個人	707,700	88,440	129,120	7,080	10,840	943,180
団体	0	0	0	0	0	0
計	707,700	88,440	129,120	7,080	10,840	943,180

## 4 教育普及事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、大幅に教育普及活動を制限せざるを得なかった。

学校への出張授業、企画展開催に合わせたホワイエでのワークショップ等については、徹底した感染防止対策を講じながら可能な限り実施した。

### (1) 館に親しみを持つ層の拡大

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当初計画の展覧会に関連した講演やワークショップ等を中止せざるを得なかった。そうした中で、オンラインでのスライドトークを実施し、講座室の収容人数以上の視聴者を獲得し、美術館に親しみを持つ層の拡大に努めた。また、従来の講座室での開催ではなく、個々で楽しめるようなワークショップや普及事業を工夫して実施し、作品に親しむ機会を設けることができた。

事業名	事業内容等	実施日	会場（手段）
スライド トーク	「THE 北斎展の見どころ」 オンラインスライドトーク	9/7(火)～ 9/26(日)	オンライン 総視聴数 420名
	「学者の愛したコレクション 展の見どころ」 前期	10/27(水) ～12/5(日)	オンライン 総視聴数 72名
	「学者の愛したコレクション 展の見どころ」後 期	11/13(土)	講座室 参加者数 20名
	北斎で日本史展 前期の見どころ	1/14(金)～ 2/27(日)	オンライン 総視聴数 205名
	北斎で日本史展 後期の見どころ	2/5(土)～ 2/27(日)	オンライン 総視聴数 103名
ワーク ショップ	「筆魂展 あなたへのオススメ作品診断」 「筆魂展 絵師タイプ診断」	4/1(木) ～ 4/4(日)	3階ホワイ エ
	「しりあがりサン北斎サン〇〇サン～北斎と戯 れよう！～」	4/20(火)～ 7/10(土) (4/25(日) ～5/30 (日)：臨 時休館)	4階ラウン ジ
	「THE 北斎 探してみよう」	7/20(火)～ 9/26(日)	3階ホワイ エ
	鑑賞プログラム「学者たちの情熱に投票しよ う！学者展作品番附」	10/12(火) ～12/5(日)	4階ラウン ジ
	鑑賞プログラム「北斎で日本史 ーあの人をどう 描いたかー なにかしら学べるワークシート」	12/21(火) ～2/27(日)	3階ホワイ エ
	花らんまん展 お持ち帰りワークショップ「北斎 の花でデザインしてみよう」	3/15(火)～ 3/31(木)	3階ホワイ エ

## (2) 児童・生徒及び教育機関に対する取組み

区内外の学校に出向き、北斎の基礎的な情報を得る講座や、北斎を学び体験する授業等、校種や学年に応じた多彩なプログラムを実施した。美術館における学校の団体利用に際しては、コロナ禍のため受け入れができず中止となった。

事業名	事業内容等	実施日	会場	参加者
出前授業	「北斎の絵を描こう！」 (墨田区立第二寺島小学校3年生)	10/16(土)	第二寺島小学 校	1組：38人
				2組：39人
	「北斎の絵を描こう！」 (墨田区立第三寺島小学校3年生)	11/5(金)	第三寺島小学 校	1組：25人
				2組：26人
	「北斎の絵を描こう！」「北斎の作品を鑑 賞しよう！」 (墨田区立両国小学校6年生)	11/16(火) ～11/17 (水)	両国小学校	1組：30人
				2組：29人
			3組：29人	

	「北斎の絵を描こう！」 (墨田区立桜堤中学校 1 年生)	11/26 (金)	桜堤中学校 (オンライン)	151 人
	「北斎の絵を描こう！」 (墨田区立吾嬬第二中学校 1 年生)	1/21 (金)	吾嬬第二中学校 (オンライン)	102 人
	「北斎の作品を鑑賞しよう！」 (墨田区立第二寺島小学校 4 年生)	1/22 (土)	第二寺島小学校	1 組 : 30 人 2 組 : 30 人
	「すみだと北斎! (調べ学習)」 (墨田区立菊川小学校 3 年生)	2/19 (土)	菊川小学校 (オンライン)	53 人
出前授業 制作物展 示	両国小学校出前授業 (11/16、17 実施)	11/21(日)～ 12/5(日)	3 階ホワイエ	

### (3) 地域との結びつきを深める取組み

例年、地域との結びつきを深めるため参加している「すみだまつり」、「北斎祭り」等のイベントが新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて中止や規模縮小となったが、「すみゆめ」などのアートプロジェクトについては、徹底した感染症防止対策を講じて講座室を会場として提供することができた。

事業名	事業内容等	実施日	会 場	参加者
展示	書道展「沢村澄子個展」(区後援)	7/22 (木・祝)～7/30 (金)	講座室	150 人
展示	大江戸すみだ職人展 (区主催)	9/23(木)～9/26 (日)	講座室	1,000 人
イベント	KOSUGE1-16 「どんどこ! 巨大紙相撲～北斎すみゆめ場所」 (すみゆめ主催企画)	10/3 (日)	講座室	60 人
展示	『すみだメタ観光祭』作品展 「すみだ新景」 (区共催)	12/4 (土)～12/12 (日)	講座室	390 人

## 5 図書室運営事業

図書室は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年4月1日(木)から10月27日(水)まで臨時休室をしていたが、日本図書館協会のガイドラインに基づくコロナ感染予防対策を講じて、10月28日(木)から事前予約制にて週2日(火・木)開室を行った。

なお、休室中は、電話やメールによるレファレンス対応や、所蔵書籍のデータ整理等の作業を行った。

## 6 施設の利用及び維持管理に関する業務

講座室の一般貸出しは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、10月11日(月)まで原則として中止とした。また、10月12日(火)以降は、徹底した感染症防止対策を講じて貸出しを行った。

貴重な北斎作品等資料を保管・展示する美術館として、施設管理、清掃、警備等の業務実績と経験を有する第三者に委託し、適切に施設管理業務を実施した。

併せて集客施設として、受付・案内業務を接客経験の豊富なスタッフを有する専門業者に委託するとともに、新型コロナウイルス感染症防止対策マニュアル等に準じ、入場制限やマスク着用、検温、消毒を徹底し、館内の感染防止に努めた。

このほか、設備の不具合や今後の設備整備計画について墨田区と適宜協議するなど、施設の機能維持や安全確保に努めた。

### III 墨田区域における文化芸術活動の推進支援事業

地域における文化芸術活動が活発になるよう、区民や文化団体・アーティスト等さまざまな担い手の取組を把握し、助成制度やアートプロジェクト等の事業を通じて、それぞれの主体的で持続的な活動の展開を促す。墨田区内を中心に行われる多彩な活動を顕在化させ、情報発信や資金支援等を行うほか、文化団体やアーティストが集う機会を設けてネットワーク形成をはかり、企画実現のためのコーディネートに努めるなど、中間支援の役割を担っている。

さらに、国や都、近隣区域の文化政策に関する情報を収集し、制度の活用により事業を充実させることで、文化芸術振興に関する専門性の向上と関連機関等との連携に努めた。

#### 1 すみだ文化芸術活動助成事業

区民の文化芸術活動の活性化と促進を図るため、以下の概要で助成事業を実施した。採択した活動については、すみだ文化芸術情報サイトとSNSでイベント情報を発信し、選考委員による視察と評価コメントのフィードバック、年度末の振り返り面談を行うなど支援プログラムの充実にも努めている。あわせて、令和4年度の事業実施に向けて申請条件や選考基準を見直し、多様な団体及び活動を支援できるよう整えた。

なお、選考会で採択した8件のうち1件が、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を鑑みて内定辞退となった。

##### ■事業概要

- ・ 申請要件：5人以上で構成される団体で、区民が主体となって活動していること。区内に主たる事務所又は活動拠点を有し、原則として、区内で1年以上の活動実績があること。
- ・ 対象事業：広く区民等に公開される文化芸術活動で、区の文化振興に寄与する公益性の高い事業であり、原則として区内で行われるものとする。
- ・ 助成金額：対象経費の合計額の2分の1以内で、100万円を上限とする。
  - ・ 選考方法：外部専門家を含む5名の選考委員により、①区民に対する訴求力、②事業の実現性、③企画力や独創性、④将来性を基準に書類審査とヒアリングを経て決定
- ・ 選考結果：採択活動8件(申請15件)、助成予定額350万円
- ・ 助成実績：7件、助成総額3,000,000円

##### ■実施概要

時期	内容
令和3年4月1日(木)	令和3年度交付決定通知
4月1日(木)～令和4年3月31日(木)	採択活動の実施、随時視察
令和4年1月4日(火)～28日(金)	令和4年度助成対象活動募集
3月4日(金)	令和4年度助成対象活動ヒアリング・最終選考会

#### 2 「すみだ文化芸術情報サイト」の運営

墨田区の文化芸術情報の収集・発信を行うため、本サイトでは区内の文化施設及び文化拠点、区内に活動拠点を置くアーティスト・文化団体情報が登録方式で集約されている。従来、登録者自らがイベント情報を掲載していたが、本年度は、事務局で各団体が発行するメールニュース等の転載や、助成事業及び「すみゆめ」と連動した情報発信に努めた(年間99件)。また、コロナ禍における支援情報の掲載などでサイト自体の閲覧数が増え、ページビューが前年比約1.5倍となった。

- ・ 登録件数：159件(前年度154件)
- ・ 総アクセス数：4万6,401件(前年度2万9,314件)
- ・ 総ページビュー：6万8,044PV(前年度4万4,640PV)

### 3 文化政策及び文化事業に関する調査

財団の中間支援機能を高めるために、国や都、他の自治体の文化政策の動向等について継続的に情報収集を行った。あわせて、区の文化施策や財団が取り組む事業に対して、文化政策等の専門家からなるアドバイザリーボードの意見を聴取した。

#### (1) 文化施策に関する情報収集

東京藝術大学が主催し、足立区、墨田区、台東区が連携する勉強会「Meeting アラスミ！—新しい文化政策を考える—アラスミ・アーツカウンシルの構築に向けて」に、すみゆめ事務局として参加（助成：文化庁）。連続講座を聴講した後、学生と共に三区が連携するアーツカウンシルのあり方を検討し、シンポジウムで発表した。

#### (2) アドバイザリーボードを活用した検討

文化政策の専門家や文化施設運営、助成制度等に詳しい有識者をアドバイザリーボードに迎え、本年度の財団の事業について進捗状況を報告したうえで、以下の事項について意見を聴取した。

会議日時：令和4年3月18日（金）15:30～17:00

検討事項：墨田区における「総合的な芸術祭」の実施について

### 4 アートプロジェクト等の推進事業

すみだ北斎美術館の開設を機に始まったアートプロジェクト「隅田川 森羅万象 墨に夢」（通称：すみゆめ）の実行委員会の事務局として事業を推進した。「北斎」「隅田川」ははじめ地域資源に因むテーマで、区内及び隅田川流域で行われる活動を公募し、採択企画に対しては補助金交付や技術サポート等を行うとともに、参加団体相互の交流を促している。

前年度に引き続き、コロナ禍の中での運営となったが、企画応募数が44件と前年度（28件）よりも増え、感染症対策を徹底した現場対応とオンラインの併用により、主催企画3件、プロジェクト企画13件のすべてを実施することができた。『東都よみうり』やTOKYO MXTVほかメディアでの露出度も高く、オンライン配信の企画もPV数や視聴時間から多く見られていることがわかる。地域の方々が集う「寄合」も、水上バスの発着所や船着場、ギャラリーを併設するホテルなど、今後の活用につながるような場を選んで行うことができた。

#### ■運営体制

主 催 「隅田川 森羅万象 墨に夢」実行委員会、墨田区  
特別協賛 YKK株式会社  
協 賛 株式会社東京鋳兼  
メディア・パートナー J-WAVE 81.3FM  
事務局 公益財団法人墨田区文化振興財団

#### ■事業概要

- プロジェクト企画支援内容：1企画あたり補助金上限100万円、区の施設の減免による利用可、技術サポート（照明・音響、展示施工など）の相談にも応じる。
- 選考方法：外部の専門家を含む5名の選考委員により、①企画の独自性・先駆性、②企画の実現性、③テーマとの親和性、④主体的参加・ネットワーク形成の意欲、⑤地域への波及効果・社会的意義といった基準から採択企画を決定（応募：44件、実施：13件）。
- チラシ、WEB、SNSを活用した広報と、企画に取材する活動レポートを配信（9件）。
- メイン期間以外でも趣旨に賛同する「ネットワーク企画」を募集し、広報協力を行う（9件）。
- 参加団体や地域の方々が集う「寄合」を月1回程度、区内の文化拠点などで実施（9回）。



チラシ等掲出キービジュアル



## ■主催企画

### ① 「すみゆめ屋台スタジオ」

#### a. みくまり屋台のピクニック

水を配ることを意味する「水分(みくまり)」と名付けた屋台が区内 3 つの公園に出向き、すみゆめ参加団体やアーティスト、地域で活動している方々が語り合う場を開設。参加企画のこだわりや日々の活動について、リレー方式でお互いに聞き合うトークイベントを3回実施した。近隣の方々が散歩ついでに立ち寄り、トークに耳を傾けるとともに、現場の様子を YouTube ライブで配信した(屋台制作:樋口裕一)。

- 日程 9月12日(日)、10月8日(金)、11月5日(金)
- 会場 京島南公園、隅田公園そよ風ひろば、旧中川水辺公園、YouTube

#### b. 木ノ下歌舞伎の古典探訪ラジオ

現代における歌舞伎演目上演の可能性を発信する木ノ下歌舞伎、主宰の木ノ下裕一がパーソナリティを務める「まちあるき&ステイホームラジオ」を制作。浅草寺から鐘ヶ淵界限まで、隅田川周辺を巡りながら、その地に潜む物語や古典作品の背景などを紹介する番組となった。

- 公開期間 10月29日(金)～12月26日(日) \*番組時間:138分
- 配信メディア YouTube、SoundCloud

### ② KOSUGE1-16「どんどこ！巨大紙相撲～北斎すみゆめ場所」

身長 180 cm、ダンボール製の巨大力士を制作するワークショップ「巡業」を区内 4 つの部屋(東向島、キラキラ橋、亀沢、東駒形)で行い、個性豊かな 32 体の力士が「本場所」に集った。会場には力士制作チームを迎え、オンラインでハンマーを動かす「電子どんどこ！」の仕組みと併せて試合を進めた。当日は親方の解説はじめ元力士による相撲甚句や弓取式、太鼓など、すみだに息づく相撲文化も紹介し、地元の谷町からは懸賞品が授与された。

- 巡業 9月23日(木・祝)、9月25日(土)、9月26日(日)、10月3日(日)
- 本場所 10月24日(日)13:30～17:00
- 会場 すみだリバーサイドホール、YouTube



TOKYO MX ニュース「TOKYO FLAG」(4分27秒)

### ③ 「Between Water - ファスナーの船 | 鈴木康広」

2018年から毎年、隅田川での航行を実現している「ファスナーの船」は、吾妻橋と桜橋の間を往復する船の引き波が、まるで川面をファスナーが開いているように見えて、そのユニークな姿が人々の注目を集めた。WEB 特集ページでは「ファスナーの船」の写真募集、水の動画を募る「水のパズル」を展開して参加を呼び掛けるとともに、2020年10月に公開したコンセプトムービーも、引き続き、多く視聴されている(再生数累計:約14万回)。

- 日時 10月30日(土)～11月7日(日)12:00～14:00
- 場所 隅田川(吾妻橋～桜橋)

## ■実施概要

時期	内容
令和3年3月4日(木)～4月16日(金)	「プロジェクト企画」の募集、応募(44件)
5月11日(火)	選考会にて13企画を採択
5月25日(火)	オリエンテーション及び第1回寄合
9月1日(水)～12月26日(日)	「すみゆめ2021」開催メイン期間
令和4年2月8日(火)	2021年度活動報告会



- ※ 実行委員会の実施:令和3年4月12日、8月25日、令和4年3月18日
- ※ 「寄合」の実施(9回):令和3年5月25日、6月30日、7月20日、8月27日、9月14日、10月19日、11月10日、12月8日、令和4年1月12日
- ※ 参加者数:延べ6万9,179人／視聴回数:延べ5万9,388回

## 5 地域における文化芸術活動への協力及び参加

一年の延期を経て開催された東京オリンピック・パラリンピックの文化プログラム「Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル 13」のうち、すみだ界限では「隅田川怒涛」(トッピングイースト)や「まさゆめ」(目[mé])が注目を集めた。隅田川沿いの公園や東京スカイツリー、東向島の空き工場を会場としており、「隅田川怒涛」はすみゆめネットワーク企画として広報連携するほか、関係者会議への参加や現地視察、情報提供などに協力した。

同じく、すみゆめネットワーク企画で連携した「すみだメタ観光祭」は、文化庁の「ウィズコロナに対応した文化資源の高付加価値化促進事業」として実施されたもので、多様な視点から地域の魅力を紹介するマップを制作し、ツアーや会議を実施することですみだのポテンシャルを可視化する取組だった。本件では、すみゆめ及びサイト運営で蓄積してきた情報の提供やアーティストによるワークショップ、展示プラン検討の相談に応じ、12月4日に開催された「観光会議」にも参加した。

すみゆめ主催企画「ファスナーの船」が、本年度より中学一年生の美術の教科書に掲載されたことから、隅田川での航行に先駆けて、6月30日、竪川中学校の一年生を対象として、アーティスト鈴木康広による特別授業が実現した。「見立ての標本」と題するワークショップで、タブレット端末を用いて身近なものを撮影し、新しい見方を言語化して友達に伝える内容で、区立中学校教育研究会の研究授業の一環として行われた。

区内で文化芸術活動を行う方を対象に、毎月第3水曜日に設けている「文化芸術活動に関するオンライン相談日」については、本年度は6件であった。助成事業やサイト運営、すみゆめを通じて関係構築された団体からの相談が多く、他の助成金についての問合せやコロナ禍で制作した映像作品の展開など、日頃の活動を充実させるための支援を求めていることがわかった。